

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 044	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 花壇苗の日持ち性に与える主要因の解明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】近年、日持ち性は花きの品質を考える際、その重要性を増しており、花壇苗においても同様である。生産段階における花壇苗の日持ち性に及ぼす要因は用土、灌水、施肥、植物成長調節剤等複数考えられるが、それぞれの寄与程度は分かっていない。  【内容】花壇苗の棚持ち性及び定植後の生育に対する用土、灌水方法、施肥方法、植物成長調節剤利用方法、遮光・気温・湿度等管理環境等の影響程度を明らかにしていただきたい。  【対象地域】横浜・川崎地区 約40戸	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 花壇苗について、流通段階での日持ち性だけではなく、消費者が植えた段階での状況なども考えられるので、生産者及び流通関係だけではなく、消費者等の意見を広く収集した上で、検討していく必要があると考えられます。花壇苗の棚持ち性の向上については、現在の生産現場での用土、栽培管理方法、植物成長調節剤利用方法、生産環境等について普及指導員の協力を得て調査を行い、必要であれば課題化を検討します。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			